

# 都立高校改革推進計画 新たな実施計画

日本の未来を担う人間の育成に向けて

平成14年10月

東京都教育委員会

## はじめに

東京都教育委員会は、生徒の多様化や少子化に伴う生徒数の減少等に対応し、都民にとって魅力ある学校づくりを進めるため、平成9年9月に、長期計画である「都立高校改革推進計画」を策定するとともに、同時に策定した同計画の第一次実施計画及び平成11年10月に策定した第二次実施計画に基づき、都立高校改革を推進してきました。

第二次実施計画は、平成14年度までを計画期間とするものであり、本年は、第三次実施計画を策定する予定となっていました。一方、計画策定後、経済・社会のグローバル化、情報技術革命等の進展、学習指導要領の改訂、中高一貫教育校への期待の高まり、東京都教育委員会の教育目標の改定、学区の廃止等、都立高校を取り巻く環境は大きく変化しています。

このため、これらの環境変化に対応する観点から、第三次実施計画としてではなく、「新たな実施計画」と位置付け、第一次・第二次実施計画の成果を踏まえた、都立高校改革推進計画の集大成となる計画として取りまとめることとしました。

新たな実施計画は、学校の統合・改編による多様で特色ある学校の設置等のハード面の改革と、マネジメントサイクルの導入等、学校経営の視点にたったソフト面の改革を一体化させるとともに、生徒の個性や創造性を伸ばす教育の推進や地域との連携、教育諸条件の整備等を行うことにより、都民に信頼される魅力ある都立高校の実現を目指して都立高校改革の展開を図ることを基本的な考え方としています。

こういった考え方のもと、新たな実施計画では、日本の未来を担う人間を育成する教育の推進、生徒の多様な希望に応える学校づくり、都民に信頼される学校経営の確立、地域とのパートナーシップを築く学校づくり、少子化時代の質の高い教育の場の確保、の5つを施策の大きな柱として展開していきます。

この実施計画を推進するに当たっては、これまで以上に都立と私立が連携・協力して、実効ある就学計画を策定するなど、適切な役割分担のもとで、それぞれの教育理念や建学の精神に基づき、東京都における教育を充実・発展させていくことが必要です。

また、都立高校の改革を進めるに当たっては、学校や教育委員会など、教育関係者の取組や努力はもとより、生徒の保護者の方々をはじめとする都民の皆様のご理解とご支援をいただくことが求められます。

東京都教育委員会は、新たな実施計画を着実に推進し、都立高校の改革を進めてまいります。今後とも、都立高校及び東京都教育委員会に対して、教育関係者、保護者、都民の皆様の一層のご理解、ご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成14年10月

東京都教育委員会